


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

総合的な学習の時間における ICT 活用 「修学旅行に関わる人にインタビューをしよう」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・中学部 3 年
	障がい名等	肢体不自由
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の教育課程で、学年相応の学習を行っている。 ・経験不足による、「働く」ことに対するイメージが持てない生徒が多い。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	総合的な学習の時間
	単元(題材)名	修学旅行に関わる人の仕事を調べよう
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューをとおして、働くことに対する興味・関心を高め、後輩にわかりやすく伝えられるよう動画の作成を行う。 ・Google や端末のアプリを利用しながら、質問事項やインタビューと動画作成の役割分担を話し合うとともに、肖像権等の個人情報保護に関する学習や情報活用能力の育成を図る。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	<p>インタビュー内容の選定 (スプレッドシート)、役割分担 (Jamboard)、学習内容の提示 (Classroom)、自己評価 (Google フォーム)</p> 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 修学旅行にかかわって働く人にインタビューする準備をとおして、どんな人々が旅行にかかわってくれるのか考えたり、自分の意見を記入して話し合ったりしながら、質問内容を精選することができたり、動画を編集することで伝えるために必要な工夫をすることができる。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでに使用してきたアプリケーションを複合して利用することで、直感的に操作ができるようにして、導入初期の操作に慣れる時間を削減する。
	材料・作成方法等	タブレット端末、TVモニター、Google Classroom、Google スプレッドシート、Google Jamboard、Google フォーム、Keynote、iMovie
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ インタビューの場面を考えるなかで、「自分がされて嫌なこと」は質問しないことや動画の視聴範囲(校内のみとする)をしっかりと伝えることで、快く引き受けてくれるのではないかと考えることができた。見学地や宿泊先など合わせて9つの職業10人の方にインタビューを実施することができたが、もっとたくさんの人たちがかかわっていて、旅行が成り立っていることに気づくことができた。 	